

## 6-2 事業活動報告交流会

本協会では、全国の大学関係者に公益目的事業について理解の普及を拡大するため、事業活動報告交流会を12月9日、オンラインで実施し、48大学2短期大学の109名、4賛助会員が参加した。

アンケート結果では、32名(教員12名、職員17名、賛助会員3名)の内31名から「参考になった」、1名から「参考にならなかった」との評価があった。以下にアンケートの記述について、主な内容を報告する。

- \* 大学教育の現状と方向性がデータにより定量的な理解ができ、より多くの情報技術を活用しようと思った
- \* 政府の動き(政策・予算)など情報提供していただき、業務に反映させていただいております。
- \* 他国に遅れをとっている情報教育に関しては、今後益々重要になる教育部門であり、更なる事業展開が期待されます。
- \* 教学DXを教員にどのように理解していただけるか、資料を基に丁寧に説明を行いたいと強く感じました。特に反転授業の実施は、大学として真剣に向き合うことが必要に感じております。

### 2022年度事業活動報告交流会開催要項

日程：令和4年12月9日(金)13:30~17:00

会場：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)からZoom配信

1. 会長挨拶(向殿 政男氏)
2. 情報提供：「教育DXを活用した学びの強化・充実を考える」(井端事務局長)
3. 事業別報告(向殿会長、井端事務局長で説明)
- (1) 教育・学修方法の改善に向けた活動
  - ・ 問題発見・解決型教育等(PBL)の研究  
(分野連携アクティブ・ラーニング対話集会、分野横断フォーラム型実験授業、思考力等の外部点検評価・助言モデル構想)
  - ・ 私立大学教員授業改善白書
- (2) 情報教育の改善充実に関する活動  
(情報活用教育コンソーシアムの活動、産学連携「SDGsサイバーフォーラムコモンズ」構想の研究、データサイエンス・AI教育のプラットフォーム)
- (3) 大学連携・産学連携による教育支援等の振興・推進活動
  - ・ 授業目的公衆送信補償金制度に対する課題提起
  - ・ 産学連携支援事業  
(学生による社会スタディ、大学教員の企業研修、産学連携人材ニーズ交流会)
- (4) 情報環境の整備充実に向けた活動
  - ・ 情報化関係補助金予算の要望と概算要求
  - ・ 私立大学情報化投資額調査
- (5) 教職員の職能開発の活動
  - ・ ICT利用教育改善研究発表会
  - ・ 教育イノベーション大会
  - ・ 短期大学教育改革ICT戦略会議
  - ・ 大学職員情報化研究講習会
  - ・ 大学情報セキュリテ研究講習会
  - ・ FD情報通信技術研究講習会など
- (6) 参加者との意見交換